

令和 2(2020)年度 IoT×AI技術活用促進事業  
IoT導入・実践研究会

# ワーキンググループ(WG)参加者募集の御案内

## 1 趣旨

あらゆるモノがネットにつながる IoT が注目されていますが、IoT システムは導入費用が高額になる、人材が不足している等の理由から、活用が十分に進んでいない状況にあります。

一方で、電子デバイスの低価格化が進んでおり、「Raspberry pi」や「Arduino」等を用いることで一万円以下のコストで通信機能を備えたセンサデバイスを作製することができます。このような状況の下、中小企業がIoT技術を活用するためには、全てをベンダーに依存するのではなく、必要に応じて、安価なデバイスやツールを自ら活用する姿勢が重要となっています。

こうしたことから「IoT 導入・実践研究会」の下にワーキンググループ(以下 WG)を設置し、「自ら学び」、「自ら手を動かし」、「自ら実証試験を行う」実践的な取組を支援することで、自社におけるIoTシステムの導入、活用の促進を検討する企業を募集します。

## 2 対象者

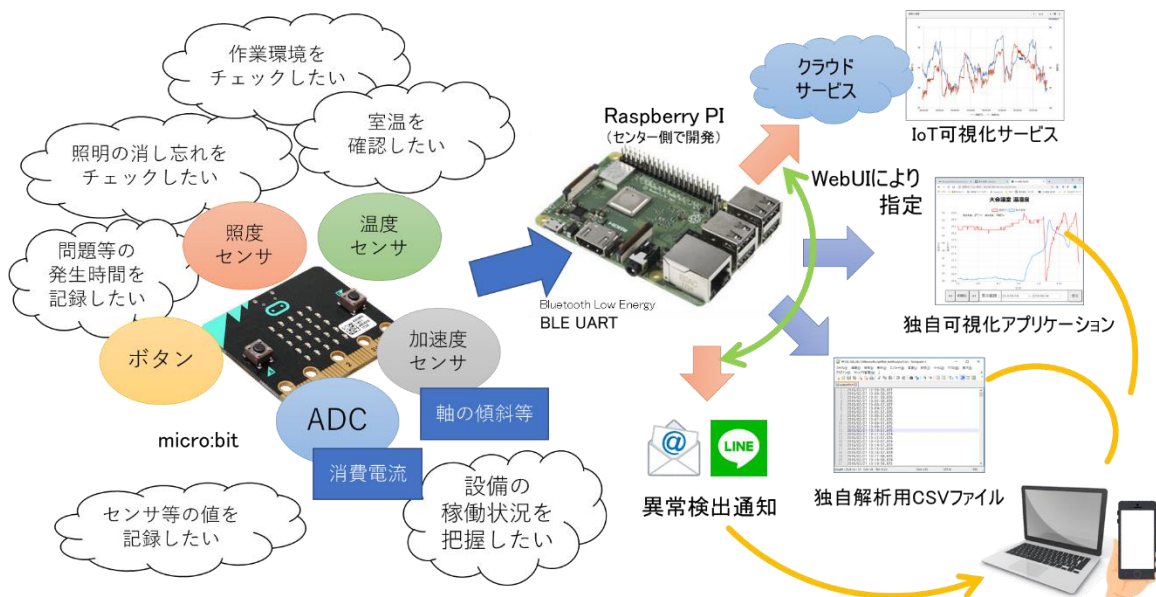
研究会参加企業の内、製造業（生産ラインを有する企業）にお勤めの方。

※ 基本的な PC 操作（web が見れる、メールが送れる）が出来れば、職種やプログラム経験は問いません。

※ 趣旨に賛同する有識者、システムベンダー等の方はオブザーバー参加とさせていただきます。

## 3 今年度の実践活動内容

R1(2019)年度重点研究「AI 導入に向けたデータ収集システムプロトタイプの開発」等の成果を活用し、センターが開発したシステムと micro:bit（プログラミング教材用小型マイコンボード）を用いて、WG 各参加企業において、装置稼働状況の見える化システムを構築し、実際にデータ取得を行います。その他、各社の要望に応じて、使用するセンサや電子回路、システムの開発を行います。



#### 4 スケジュール

	研究会活動	WG 活動計画	
7 月	キックオフ M		活動計画の説明
8 月		第1回 勉強会	開発環境構築・micro:bit の基礎
9 月		第2回 勉強会	python によるアプリケーション開発
10 月		第3回 勉強会	外部講師による IoT ツールの御紹介
11 月		企業での実践活動	参加者の現場でデータを取得
12 月		↓	
1 月		成果取りまとめ	各社の取組のとりまとめ
2 月	研究会	WG 会議	研究会の活動報告

※調整により内容・スケジュールが変更になる場合があります

#### 5 参加希望者に御用意いただくもの（キックオフミーティングで改めて説明します。）

##### (1) USB ポートを有し OS が Windows10 のノート型パソコン

- ・開発環境構築のため、ソフトやドライバをインストールが可能なもの
- ・無線 LAN 接続により、インターネットへの接続が可能なもの

##### (2) google のアカウント

- ・勉強会でのプログラミングに必要となります。

##### (3) 各種センサ（センターが所有するセンサ以外で必要となる場合）・その他必要な部品

- ・他社での活用が難しいセンサ等については、企業様に御用意いただく場合があります。

※なお、勉強会や実践活動で使う micro:bit や IoT ゲートウェイ（データ中継端末）は、センター所有のものを利用します。また、継続して使用するため企業側で用意する場合には、機種選定や環境構築を支援します。

#### 6 その他

勉強会については、事前の日程調整を行い、原則、全回参加いただきます。できる限り、参加者の変更が無いようにしてください。（Web 会議形式での実施も検討します。）

#### 7 申込み方法

参加申込書に御記入の上、7 月 3 日（金曜日）までに FAX 又は E-mail でお申込みください。

※7 月 9 日の説明後に参加の可否を判断される場合、その旨事前に事務局まで御連絡ください。

なお、申込み多数の場合は、申込内容により参加者を調整させていただく場合がございます。

#### 8 お申込み・お問合せ先

栃木県産業技術センター 機械電子技術部 電子応用研究室 担当：島田、清水、八木澤

TEL:028-670-3396 FAX:028-667-9430 E-mail:denshi@iri.pref.tochigi.lg.jp